



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 あすか製薬株式会社

コード番号 4514 URL <http://www.aska-pharma.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 長尾 智仁 TEL 03-5484-8366

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	13,714	△2.0	898	7.2	987	1.8	739	31.1
2020年3月期第1四半期	13,991	9.6	837	△31.2	969	△28.4	563	△46.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 966百万円 (248.6%) 2020年3月期第1四半期 277百万円 (△76.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	26.09	—
2020年3月期第1四半期	19.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	80,166	42,273	52.7
2020年3月期	80,239	41,573	51.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 42,273百万円 2020年3月期 41,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00
2021年3月期 (予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2020年3月期末配当金の内訳 普通配当7円00銭 創立100周年記念配当 3円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	0.9	2,000	32.7	1,900	10.8	1,500	131.1	52.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	30,563,199株	2020年3月期	30,563,199株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,219,679株	2020年3月期	2,234,979株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	28,334,145株	2020年3月期1Q	28,246,117株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	8
(1) 主力品の売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期から2億7千7百万円減少し、137億1千4百万円（前年同期比2.0%減）の減収となりました。利益面につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて営業活動の自粛等に伴う経費減少があり、営業利益8億9千8百万円（前年同期比7.2%増）、経常利益9億8千7百万円（前年同期比1.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億3千9百万円（前年同期比31.1%増）といずれも増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 医薬品事業

GnRHアンタゴニスト「レルミナ」や難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」等が堅調に増加したことに加え、2020年2月に東亜薬品工業より承継した切迫早産における子宮収縮抑制剤「マグセント」の販売開始による実績が売上増に寄与したものの、薬価改定に伴う減収要因もあり、売上高は126億9百万円（前年同期比1.7%減）と減収となりました。一方、利益面では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業活動の自粛等による経費減少等から、セグメント利益は18億3千万円（前年同期比3.9%増）と増益となりました。

② その他

動物用医薬品、検査、医療機器等の各事業を展開しているその他事業については、動物用医薬品の売上減少等を受けて、売上高11億4百万円（前年同期比4.6%減）となったものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業活動自粛による経費減少等により、セグメント利益は7千9百万円（前年同期比20.5%増）と減収増益となりました。

<新型コロナウイルス感染症拡大による事業および業績への影響>

当社では新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、在宅勤務や営業活動の自粛、出張の原則禁止等の対策を講じてまいりました。また生産部門、くすり相談室などの業務に関しては従業員の安全・健康に必要な対策をとりつつ、出社を継続し、製品の安定供給と情報提供に努めております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、業績への影響は軽微であり、製品供給についても安定して供給できる体制を維持しております。

今後、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化した場合、想定される事業活動への影響は以下のとおりです。

(販売)

今後、国内における感染拡大が深刻化した場合には、医療機関へ来院する患者数減少に伴う処方減少、疾患啓発活動の自粛等に伴う新規処方の減少等により売上へ影響を及ぼす可能性があります。

(研究開発)

研究開発活動において現時点で大きな影響はありませんが、臨床試験を実施する開発テーマにおいては医療機関による訪問規制や患者の来院自粛などによる症例登録遅延から開発の進捗に影響を及ぼすことが想定されます。

(生産)

生産においては従前より安定供給体制を構築しており、現時点において当社工場の稼働に影響はありませんが、原材料等の調達に停滞が生じた場合には製品の供給が制限される可能性があります。

当社は今後もステークホルダーの安全を最優先として感染拡大防止に努めつつ、事業活動を継続してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7千2百万円減少し、801億6千6百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金は増加しましたが、現金及び預金および無形固定資産のその他が減少したためであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億7千2百万円減少し、378億9千2百万円となりました。これは主に、短期借入金は増加しましたが、流動負債のその他、長期借入金および流動負債のその他の引当金が減少したためであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億9千9百万円増加し、422億7千3百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加および株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.9ポイント上昇し52.7%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年5月12日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費総額は、8億4千7百万円であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,294	5,643
受取手形及び売掛金	13,792	16,166
商品及び製品	9,087	8,992
仕掛品	353	469
原材料及び貯蔵品	4,602	4,468
その他	2,196	2,211
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	37,326	37,952
固定資産		
有形固定資産	13,539	13,328
無形固定資産		
無形固定資産仮勘定	8,446	8,421
その他	5,137	4,648
無形固定資産合計	13,584	13,070
投資その他の資産		
投資有価証券	9,794	10,118
その他	6,012	5,713
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	15,789	15,814
固定資産合計	42,913	42,213
資産合計	80,239	80,166
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,239	3,245
電子記録債務	2,801	2,701
短期借入金	2,748	4,448
その他の引当金	997	483
その他	7,340	6,347
流動負債合計	17,127	17,226
固定負債		
長期借入金	13,671	12,796
環境対策費用引当金	820	820
退職給付に係る負債	6,655	6,666
その他	390	382
固定負債合計	21,537	20,666
負債合計	38,665	37,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	928	928
利益剰余金	39,560	40,015
自己株式	△2,191	△2,174
株主資本合計	39,495	39,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,293	2,536
為替換算調整勘定	△9	△34
退職給付に係る調整累計額	△205	△195
その他の包括利益累計額合計	2,078	2,306
純資産合計	41,573	42,273
負債純資産合計	80,239	80,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	13,991	13,714
売上原価	7,361	7,640
売上総利益	6,629	6,073
販売費及び一般管理費	5,791	5,175
営業利益	837	898
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	120	125
その他	60	45
営業外収益合計	180	171
営業外費用		
支払利息	13	14
不動産賃貸費用	27	28
その他	6	38
営業外費用合計	48	81
経常利益	969	987
特別利益		
保険代理店事業譲渡益	49	—
特別利益合計	49	—
特別損失		
投資有価証券評価損	110	—
特別損失合計	110	—
税金等調整前四半期純利益	907	987
法人税、住民税及び事業税	35	151
法人税等調整額	308	96
法人税等合計	344	248
四半期純利益	563	739
親会社株主に帰属する四半期純利益	563	739

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	563	739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△302	243
退職給付に係る調整額	10	10
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△25
その他の包括利益合計	△286	227
四半期包括利益	277	966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	277	966

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	12,833	1,157	13,991	—	13,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	21	21	△21	—
計	12,833	1,179	14,013	△21	13,991
セグメント利益	1,762	65	1,828	△990	837

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△990百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	12,609	1,104	13,714	—	13,714
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	12	12	△12	—
計	12,609	1,117	13,726	△12	13,714
セグメント利益	1,830	79	1,909	△1,011	898

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,011百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高
(2 0 2 1 年 3 月 期 第 1 四 半 期 実 績)

(単位：億円)

品 目 名	前 期 2020年3月期		当 期 2021年3月期		対前年同四半期 増減率 (%)
	第1四半期 実績	年間実績	第1四半期 実績	年間見込	
高血圧症治療剤 カンデサルタン※	37.6	132.2	32.4	114.9	△ 14.0
甲状腺ホルモン剤 チラーヂン	17.9	68.9	18.5	71.7	3.0
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	12.9	47.9	11.5	36.4	△ 10.8
子宮筋腫治療剤 レルミナ	3.1	26.2	11.3	59.2	268.9
難吸収性リファマイシン系抗菌薬 リフキシマ	9.1	37.8	11.2	48.3	22.4
月経困難症治療剤 フリウェル	4.8	22.5	6.5	24.7	35.9
抗甲状腺剤 メルカゾール	3.6	13.8	3.6	13.8	△ 0.5
高脂血症治療剤 リビディル	4.0	13.7	3.5	11.9	△ 13.2
高血圧症治療剤 アムロジピン	4.4	14.4	3.4	11.8	△ 22.7
筋萎縮性側索硬化症用剤 リルゾール	1.9	8.5	2.9	9.6	53.4
前立腺癌治療剤 ビカルタミド	3.9	12.6	2.8	10.6	△ 29.0
子宮収縮抑制剤 子宮発症抑制・治療剤 マグセント	-	0.6	2.4	8.8	-

※ カンデサルタン配合剤を含む